

すべての子どもによりよい保育を！

全保連ニュース号外 2016. 4. 20

全国保育団体連絡会／TEL:03-6265-3171／FAX:03-6265-3230／URL <http://www.hoiku-zenhoren.org/>

熊本地震救援募金の呼びかけ

4月14日以降続いている熊本地震は、規模の大きな揺れが相次ぎ、いつになったら収まるのか先が見えない状況が続いています。被災されたみなさまに、心からお見舞いを申し上げます。

現在、ライフラインが少しずつ復旧している地域もあるようですが、依然続く激しい揺れにより、建物の倒壊や道路の寸断、保育園でも避難者を受け入れるなど混乱した状況が続いています。4月20日午前の時点では、熊本市内の園には休園との指示が行政からでていますが、施設によっては20日以降も保育を再開できる見通しがたないところもあるようです。

今後、政府が被災地支援・復旧に全力をあげ、情報提供や保育所・幼稚園に対する緊急対策をすすめるよう、全保連としても要請していききたいと思います。

被災地からの要請に応える準備をしつつ、当面、加盟団体及び関係者のみなさんに、**被災地支援のための救援募金を訴えます。**

※募金は全保連加盟団体へ送り、各団体の判断で活用していただきます。

熊本地震 救援募金の送付先

郵便振替 00110-8-117536 全国保育団体連絡会

(通信欄に「熊本地震救援募金」と明記してください)

熊本保育連絡会の窓口であるさくらんぼ保育園の建川園長を中心に、熊本県内の保育園、関係者のみなさんに連絡をとり、状況を把握しているところです。現地では全国からの問い合わせに追われている状況もあるようですので、今後も状況が分かり次第、全保連からみなさんにお知らせします。

●熊本・さくらんぼ保育園（4/20 建川園長の話）

園舎・職員・子どもはとりあえず無事。

九州・全国のみなさんからの支援のおかげで、毎日物資が届き、物資は足りてきている。

一時は、70人程の被災者を園に受け入れていたが、今は10人程の方が残るのみ。ただ、朝、昼、晩の炊き出しは行っており、地域の人が食べにきている。水、ガス、電気はとれているため、21日から保育を再開する予定。



●熊本市・やまなみこども園（4/20 山並園長の話）

職員、子どもたちは、無事だが、自宅が倒壊するなどして、避難所で生活する、遠くの親類を頼り避難している関係者もいる。園には、多い時には100人近くの方が避難していた。今も余震の不安により、夜だけ園に泊まりに来る人たちを受け入れている。電気、水道は戻ったが、ガスがきていないため、薪を使って炊き出しを行っている。21日から保育を再開する予定で、園舎の点検をしてもらうなど準備が大変。子どもたちを守らなければいけませんから、頑張ります！

●熊本市・ひまわり保育園（4/19 大滝園長の話）

園舎にひびが入り、モノが落ちて、散乱した。水とガスがまだ止まっている。生水は飲めないが、スーパーには水や食べ物がない状態。家庭によっては、避難所や車中で生活している子どももいる。子どもを受け入れたいが、いつ再開できるかわからない状況です。

●熊本市・大光保育園（4/20 佐藤先生の話）

職員・子どもは避難所や車の中で暮らしている人が多い。1度目の大きな揺れの翌日、4/15には開所の指示が熊本市からあり、開所。10名程の子どもが来た。翌4/16未明の強い揺れにより、園舎は築5年にもかかわらず、ひずみとひびが入った。さらに隣接するお寺が倒壊寸前（解体を待つ状態）となり、園舎も崩れそうで不安。物音や地震速報の音におびえ泣き出す子どもがでてきていることが、とても心配。

●八代市・川岳保育園（4/20 光永園長の話）

園舎の被害は少ないが、公民館や避難所に入っている職員や子どももいる。余震が収まる気配がなく、子どもを受け入れる上で不安がつきません。

●子育てネットワークかごしま（4/17 吾孫子園長の現地訪問&支援報告→）

連絡会窓口の大口里保育園の吾孫子園長が、4月17日「子育てネットワークかごしま」「福岡保問研・全国保問研」「NPO法人トータルサポートネットワーク」のお見舞い・支援物資を届けに、さくらんぼ保育園、山並こども園に行かれています。

報告書をいただきましたので、一部抜粋して紹介させていただきます。

国道は事前の情報通り、八代に入ってからはずっと渋滞で、普通高速で行けば2時間もかからないさくらんぼ保育園まで4時間あまりかかりました。道中は震源地より離れた南側ということもあったためか、全壊している家屋等は見かけませんでしたが、屋根や塀の破損、道路の亀裂等はあちこちで見られました。

さくらんぼ保育園に着いたら、建川さんが迎えてくれましたが、夕食前ということもあり建川さん自ら厨房に立たれている最中でした。僕が連絡した時は電気が通っていて水も大丈夫ということでしたが、着いた時には停電していて台所以外の水は出ないということでした。建物は新築されたばかりなので大丈夫でしたが、ガラスの破損や部屋の中は雑然としていて、地震の大きさを物語っていました。在園児・卒園児・地域の方々70名ほどが避難所としてさくらんぼに避難されていましたが、停電したこともあり、職員さん方も少なく、被災者の方も何世帯かがいらっしやるだけでした。夜には温かい食事を提供される予定なので、その時には被災された方々がまたいらっしやると聞きました。長居しても迷惑なので支援物資とお見舞い金をお渡しして、やまなみこども園に移動しました。

やまなみこども園も園舎は大丈夫でしたが、道路側のブロック塀が崩れていたり、さくらんぼ同様、部屋の中は大変混乱しているようでした。やまなみこども園にも在卒園児や保護者、地域の方が100人ほど避難所として来ているとのことでした。電気も止まりましたが丁度発電機で電気を起こしていました。夕食時間だったため子どもたちは園庭で食事をしていました。献立は魚の煮つけやサラダ、ご飯に汁物とても美味しそうな食事だったので、山並さんに「食材はどうしたのですか？」と聞いたら、ご主人が天草から持ってきているとのことでした。やまなみこども園には大勢人がいて、保育者さんたちもたくさんいました。被災したことを知らなければ園庭で親子キャンプをしているかのような錯覚に陥るほどの光景でした。

さくらんぼ同様、やまなみこども園にも支援物資を置いて、お見舞いをお渡しした後、帰路に着きました。帰りも予想通りの渋滞でしたが、日が変わる前には無事に鹿児島県の自宅に帰り着くことができました。

建川さん山並さんをはじめ職員さん方に本当に喜んで頂けて行って良かったと思います。もっと細かく必要なものを聞き取れて行ければ良かったのですが、今の時点で必要なものはお届けできたかと思います。迅速に支援を決定された各団体さまに本当にありがとうございましたとのことでした。